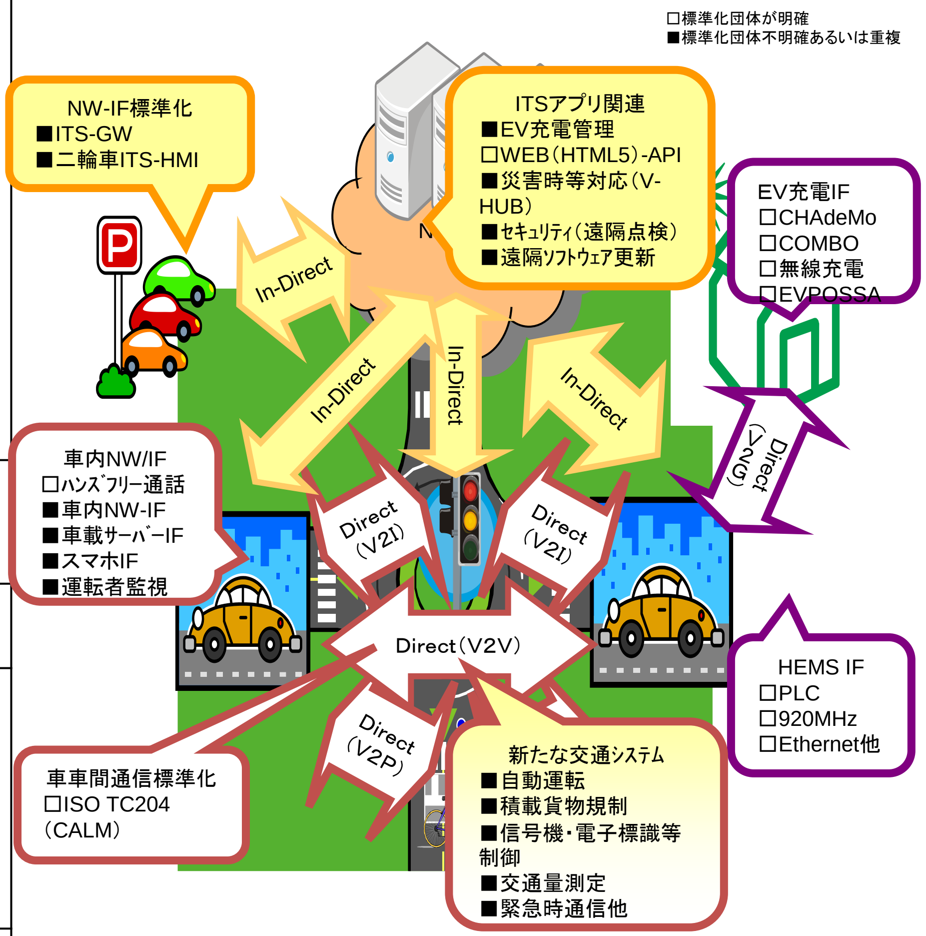
中期標準化戦略 （概要と目的）

専門委員会・AG名	コネクテッド・カー専門委員会	1/3

企画戦略委員	コネクテッド・カー専門委員会担当： 三宅 滋（日立）
登録委員数	31名
委員長・副委員長/リーダー・サブリーダ	委員長：千村保文（OKI） ／ 副委員長：鈴木邦一（デンソー）
活動の目的・意義	• 本専門委員会では、クルマ同士あるいはクルマとネットワークインフラや他のネットワークアプリケーションとつながることによる課題を中心に検討する。 • 日本では、ETCやITSスポットなど全国規模でのITSサービスを実現している。しかし、これらのシステムの国際展開は道路環境の違いや無線方式の差異などにより、課題がある。 • 大規模災害時にコネクテッド・カーを活用した情報通信ハブ（V-HUB）について、2014年8月にTTCより日本での取り組みをベースにASTAPへ提案し2018年にAPT勧告化した。2020年には、この標準の利活用に向けてCIAJと連携し、ガイドラインを策定した。今後は、**社会実装に向けての改訂、充実を図る。** • コネクテッド・カーの普及に伴い、遠隔での自動車の診断、保守が必要となっている。そこでITSのセキュリティに関してセキュリティ専門委員会と連携し、**ITU-T SG17の標準策定を支援**する。 • コネクテッド・カーの通信技術として5Gなどの広域通信とDSRCなどの狭域通信を共用することによる都市レベルでの事故防止や渋滞回避へ貢献するため実証実験が世界中の各都市で始まっている。この**スマートシティ実現の状況を調査し、標準化テーマを模索**する。
活動する上での課題（人材面や運用面での課題を含む）	• 自動車関連業界団体との緊密な情報連携、急速に変化する市場動向のウオッチ • **活動メンバーが限定的であり、テーマの拡充に伴ってメンバーの強化が課題**
関連のSDGsゴール	
標準化方針	［アップストリーム活動］ • CITSへの自動車通信分野の標準化課題の提言（特に、自動運転に関する動向に注視）等 ［TTCドキュメント制定］ • 「災害時の自動車活用した情報通信システム（V-HUB）」の利活用ガイドラインの改訂と拡充 • **ASTAPへの災害時の情報通信システムの事例レポートの提案** • 自動車関連団体（JAMA、JSAE、JASPAR）との課題共有継続、SG17関連活動支援 • **DREAMS FORUMや自治体との連携**により、コネクテッド・カー利活用促進を図る
国内外の標準化団体等の動向	• ITU-T SG16/Q27およびSG17/Q13にてITS（高度道路交通システム）の標準化に対応 • ISOでは、TC204/TC22などで標準化対応中。CITSにて標準化団体間連携実施中。 • 国内では、JSAE、JASPAR、ITS-Japan、5GMFなどと連携を図っている。

図解 （コネクテッド・カー専門委員会が対象とする標準化領域）



中期標準化戦略 （2023年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	コネクテッド・カー専門委員会	2/3

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	コネクテッド・カーに関する最近の国内外の動向に注視し、以下の標準化活動を実施 (1) 災害時ITS応用：自動車を用いた防災・減災システム(**V-HUB)の社会実装に向けて、CIAJと連携して策定した利活用ガイドラインを改訂** (2) ITSセキュリティ：セキュリティ専門委員会と連携し、**V2Xに関するセキュリティガイドライン(X.1373rev他)の策定、改訂を支援** (3) 広域通信(5Gなど)と狭域通信(DSRC)を活用した都市全般を対象とする事故防止や渋滞解消に向けた**スマートシティにおける課題解決に向けた取り組みの調査** (4) 5GにおけるV2X：5Gを活用したV2Xの標準化動向について、移動通信網マネージメント専門委員会と連携して、5GMF Connected Vehicle adhocに参加し、意見交換、調査を実施
関連する専門委員会または外部組織とその内容	• マルチメディア応用専門委員会(SG16、FG-AI4AD) • セキュリティ専門委員会(SG17での連携) • 自動車関連団体との連携(JAMA、JSAE、JASPAR、ITS-Japan他)

主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件	1件 - ASTAP-35 EG-DRMRSへの報告	
	外部会合への参加・連携状況	・CITS ・ASTAP	・CITS 活動報告 ・ASTAP-35への参加(2023年4月)	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/1件/0件 ・V-HUB利活用ガイドライン改訂	0件/1件/0件 ・2024年3月　V-HUB実装事例、自治体アンケートレポート予定	
③ ダウンストリーム	数	TS制定：0件 TR制定：0件	TS制定: TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	• 2回 (V-HUBガイドライン改訂セミナー、CEATEC2023)	・2023年10月 CEATEC2023にて講演(387回視聴あり) ・2024年3月　セミナー開催予定	
	記事投稿、講演会	• TTCレポート	・2024年3月セミナー結果報告予定	

中期標準化戦略 （2024年度重点取り組みと活動予定）

専門委員会・AG名	コネクテッド・カー専門委員会	3/3

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	コネクテッド・カーに関する最近の国内外の動向に注視し、以下の標準化活動を実施 (1) 災害時ITS応用：自動車を用いた防災・減災システム(**V-HUB)の社会実装に向けて、他団体と連携し、普及促進のための活動体制を整える** (2) ITSセキュリティ：セキュリティ専門委員会と連携し、**V2Xに関するセキュリティガイドラインの改訂を支援** (3) 広域通信(5Gなど)と狭域通信(DSRC)を活用した都市全般を対象とする事故防止や渋滞解消に向けた**スマートシティにおける課題解決に向けた取り組みの調査** (4) 5GにおけるV2X：5Gを活用したV2Xの標準化動向について、5GMF Connected Vehicle adhocに参加し、意見交換、調査を実施			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	• マルチメディア応用専門委員会(SG16) • セキュリティ専門委員会(SG17での連携) • 自動車関連団体との連携(JAMA、JSAE、JASPAR、ITS-Japan、DREAMS FORUM他)			
主な活動項目	概況指標	2024年度目標(当初計画時)	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件	-	
	外部会合への参加・連携状況	・CITS ・ASTAP EG-DRMRS		ASTAP-36は2024年5月開催予定
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/1件/0件 ・V-HUB利活用ガイドライン改訂	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS制定： 0件 TR制定： 0件	TS制定： TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	• 2回 （TTCセミナー、CEATEC2024）		
	記事投稿、講演会	• TTCレポート		